

固定資産 第5問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適切と思われるものを選ぶこと。

1. 当期首に愛媛物産(株)は、松山商会(株)を¥8,000,000 で買収し、代金は小切手を振り出して支払った。買収時点における松山商会(株)の資産合計は¥25,000,000、負債合計は¥18,000,000 であった。なお、資産総額は「諸資産」、負債総額は「諸負債」勘定を用いて仕訳すること。
2. 決算にあたり、1. で計上したのれんを償却する。なお、償却期間は20年間で定額法によるものとする。
3. 当期首に山口商事(株)は、下関物産(株)を¥2,000,000 で買収し、代金は現金で支払った。買収時点における下関物産(株)の資産合計は¥14,000,000、負債合計は¥11,500,000 であった。なお、資産総額は「諸資産」、負債総額は「諸負債」勘定を用いて仕訳すること。
4. 当期首に自社利用目的でソフトウェアを購入し、代金¥2,000,000 は小切手を振り出して支払った。
5. 決算にあたり、4. で購入したソフトウェアの償却を行う。償却期間は5年、定額法にて行う。
6. 自社利用目的のソフトウェアの開発をシステム開発業者に発注し、請負金額の一部である¥5,000,000 を小切手を振り出して支払った。
7. 当期2月1日(決算日は3月31日)に、保険料¥560,000 を普通預金口座から振り込んだ。
8. 保険料勘定に計上されている¥560,000のうち¥540,000は、翌期首から向こう3年分の保険料である。決算にあたり前払いの処理を行う。
9. 当期12月1日(決算日は3月31日)に、2年分の保険料¥192,000を現金で支払った。
10. 決算にあたり9.の保険料について、前払いの処理を行う。

固定資産 第5問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	諸資産	25,000,000	諸負債	18,000,000
	のれん	1,000,000	当座預金	8,000,000
2	のれん償却	50,000	のれん	50,000
3	諸資産	14,000,000	諸負債	11,500,000
			現金	2,000,000
			負ののれん発生益	500,000
4	ソフトウェア	2,000,000	当座預金	2,000,000
5	ソフトウェア償却	400,000	ソフトウェア	400,000
6	ソフトウェア仮勘定	5,000,000	当座預金	5,000,000
7	保険料	560,000	普通預金	560,000
8	前払保険料	180,000	保険料	540,000
	長期前払保険料	360,000		
9	保険料	192,000	現金	192,000
10	前払保険料	96,000	保険料	160,000
	長期前払保険料	64,000		

【解説】

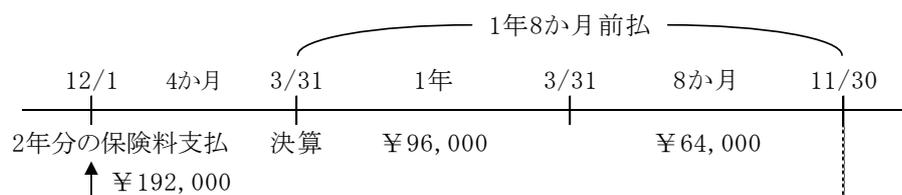
2. $¥1,000,000 \div 20 \text{年} = ¥50,000$

5. $¥2,000,000 \div 5 \text{年} = ¥400,000$

8. 前払保険料； $¥540,000 \div 3 \text{年} = ¥180,000$

長期前払保険料； $¥540,000 - ¥180,000 = ¥360,000$

10.



1年分の保険料（前払保険料）； $¥192,000 \div 2 \text{年} = ¥96,000$

8か月分の保険料（長期前払保険料）； $¥96,000 \times 8 \text{か月} / 12 \text{か月} = 64,000$